

アカデミア キャンペーン

大学官公庁のお客様限定の特別期間限定企画です

xCELLigence リアルタイム細胞アナライザー

2024年10/1(火) ~ 2024年12/20(金) 受注分まで

16ウェル×1枚



xCELLigence RTCA S16 システム

~~¥3,095,000 (税別)~~

▼
¥2,480,000 (税別)

16ウェル×3枚



xCELLigence RTCA DP システム

~~¥10,494,000 (税別)~~

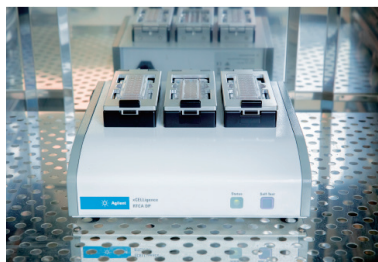
▼
¥8,390,000 (税別)

いつもの細胞実験がもっと簡単に

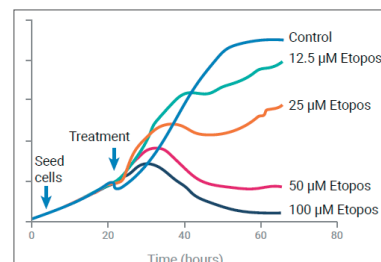
xCELLigence システムは、細胞の生死、形態変化、移動などを同一ウェルからラベルフリーで連続的に自動測定します。細胞を専用プレート (E-Plate) に播種して、薬剤等を加えるだけで、生理的条件下における細胞の経時変化を自動でモニタリングできるので、これまでの実験の手間を大幅に削減して、定量的なデータを簡単に取得できます。



細胞を播種



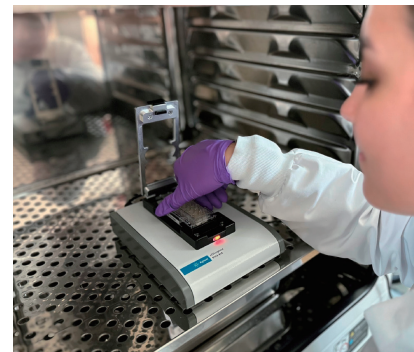
CO₂ インキュベーターの中で
測定を開始



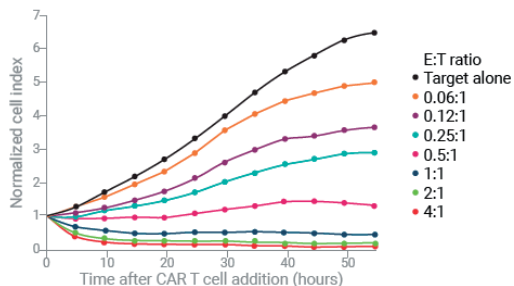
カイネティックデータを
自動取得

様々な細胞アッセイに

- 細胞増殖アッセイ / 細胞障害性試験
- CAR-T や抗体医薬品の細胞傷害活性測定
- トランスウェルアッセイ (DP のみ対応)
- スクラッチアッセイ
- 間接共培養による細胞間相互作用測定
- ウイルスの細胞変性効果
- 細菌による細胞毒性試験
- タイトジャンクションの開閉
- 細胞接着と伸展
- GPCR へのリガンド結合試験 など

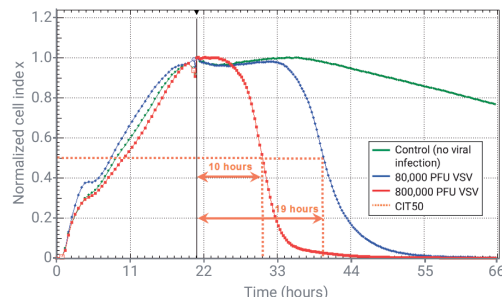


がん細胞に対する免疫細胞の細胞傷害活性の測定



CD19 を発現する HEK-293 細胞に、CD19 CAR-T 細胞を異なる Effector:Target 細胞比 (ET 比) で加えて、細胞傷害活性を同一ウェルから連続的に測定した。ET 比に依存的なキリングが確認された。低い ET 比による細胞傷害性も感度高く測定できている。抗体医薬品の細胞傷害活性も同じように測定が可能です。

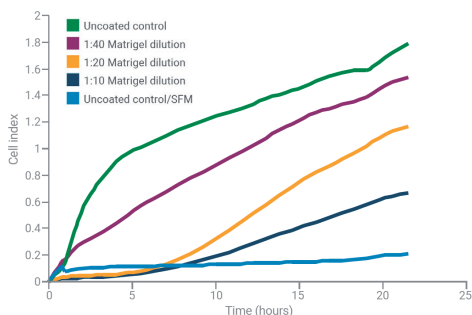
ウイルスによる細胞変性効果の測定



Vero E6 細胞に異なる PFU の VSV (Vesicular Stomatitis Virus) を加えて細胞変性効果 (細胞溶解) をリアルタイムにモニタリングした。宿主細胞の半分を溶解させる時間 (CIT50 値) が PFU と逆相関する。

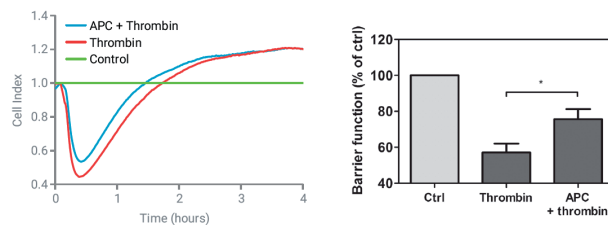
アッセイに用いるウイルスカ価や測定タイムポイントの最適化、あるいは抗ウイルス薬の薬理活性の測定、抗体や血清等の中和試験に用いることができます。

がん細胞やマクロファージの移動浸潤実験



トランスウェルタイプの専用プレート (CIM Plate) を用いて、HT1080 細胞の遊走と浸潤をリアルタイム測定した。マトリゲル濃度に応じて細胞の移動が遅くなる。無血清培地コントロールでは細胞遊走が起こらない (水色)。

タイトジャンクションの崩壊と再生



内皮細胞を用いて、Thrombin によるタイトジャンクションの破壊と再生をリアルタイム測定した (左図)。

細胞に Thrombin を加えるとタイトジャンクションが破壊され、電気抵抗値が一時的に下がるが、やがて元に戻る。

Activated Protein C (APC) を同時に加えたウェルでは Thrombin によるタイトジャンクション破壊作用が抑えられる。

左図はコントロールウェルを 100% とするシングルタイムポイントのデータの比較 (右図)。xCELLigence による測定結果は、Permeability Assay による結果と一致した (Data not shown)。

代理店

国内販売元



本社 〒135-0014 東京都江東区石島 2-14
Imas Riverside 4F
Tel. (03)6458-6696 Fax. (03)-6458-6697
西日本営業所 〒532-0003
大阪市淀川区宮原5-1-3 NLC新大阪アースビル403
Tel. (06)6394-1300 Fax. (06)6394-8851
Web Site : www.scrum-net.co.jp

AG20240909